

お知らせ  
(経済同時)

平成29年11月6日  
(地独)京都市産業技術研究所  
〔担当：経営企画室〕  
〔電話：326-6101〕  
京都市産業観光局  
〔取次：新産業振興室〕  
〔電話：222-3324〕

京都市産業技術研究所・京都府立大学 包括連携事業  
京都府立大学 ACTR 公開シンポジウムの開催について

～「漆を知ればお茶が楽しい，漆を知れば食が楽しい」～

(地独)京都市産業技術研究所及び京都府立大学の包括連携事業の一環として，京都府立大学 ACTR 公開シンポジウム「漆を知ればお茶が楽しい，漆を知れば食が楽しい」を京都府立大学において開催することとなりましたので，お知らせします。

本シンポジウムでは，お茶席や食事に欠かせない漆器や塗り物を様々な角度から紹介し，漆器や漆塗りの良さを伝えます。漆を知り，お茶や食事に彩を添える漆器や塗り物の魅力を知ることで，お茶や食事がもっと楽しいものになるでしょう。

記

- 1 日 時 平成29年12月9日(土)  
午後1時～午後5時10分 ※午後0時30分開場
- 2 会場 京都府立大学 稲盛会館 104号室
- 3 プログラム (敬称略)  
午後1時～午後1時5分  
開会挨拶  
築山 崇 (京都府立大学 学長)  
午後1時5分～午後1時10分  
初めに  
椎名 隆 (京都府立大学 教授)  
午後1時10分～午後2時10分  
「煎茶工芸と漆」  
三木 啓樂 (漆芸表悦 漆芸家)  
午後2時10分～午後2時20分  
休憩  
午後2時20分～午後2時45分  
「陶磁胎漆器『釉艶』の開発」  
比嘉 明子 (京都市産業技術研究所 研究副主幹 デザインチームチームリーダー)

(要旨)

「焼付漆」による陶磁胎漆器の研究と試作を発展させ、煎茶道具『釉艶』の製品開発を行いました。釉薬の「透明感」と漆塗の「艶」の組合せによる新感覚の漆器の提案です。

午後2時45分～午後3時10分

「京の伝統工芸で『食べる楽しみを叶える』感性価値の高い機能性介護食器」

杉浦 和明 (京都市産業技術研究所 研究室副室長)

(要旨)

これまでの介護食器は機能性が最優先され、おとなの食事に合うデザインが少なく、食欲増進の効果に改善の余地がありました。そこで、京都の伝統工芸品が持つ「おとな向けの美しさ」の感性的な魅力に着目し、健常者用の食器と違和感の少ない外観と機能性を融合させて“食べる楽しみを叶える”介護食器セットを開発しました。

午後3時10分～午後3時35分

「ルームイン和室・ざしき～漆塗り和室という家具を置く～」

亀井 智美 (ナイス株式会社)

午後3時35分～午後4時5分

ポスター・展示部セッション

午後4時5分～午後5時5分

「秀吉と漆器～桃山時代の漆文化～」

田川 真千子 (高台寺掌美術館 副館長)

午後5時5分～午後5時10分

終わりに

大藪 泰 (京都市産業技術研究所 文化財修復研究フェロー)

- 4 参加費 無料
- 5 定員 なし
- 6 申し込み 不要
- 7 共催 京都府立大学, 地方独立行政法人京都市産業技術研究所
- 8 問合せ先 京都府立大学大学院生命環境科学研究科植物分子生物研究室  
(椎名研究室)  
電話: 075-703-5115